

ふくい街角景気速報

(平成21年6月分)

調査期間 平成21年6月19日～30日 (回答率：99%)

概況

景気の現状は、一部で持ち直しの動きがみられるものの、依然として厳しい状況が続いている。

■景気の現状判断DI 42.2 (前月比 +3.4)

家計部門では、ショッピングセンターや小売店などで、来客数や売上高が横ばいから減少傾向にある状況が見られる。

企業部門では、携帯電話・自動車関連で持ち直しの声が聞かれるものの、多くの業種で受注量が横ばいで推移し、単価も下落傾向にあるなど、厳しい経営環境が続いていることが伺える。

雇用部門では、企業の求人が低調に推移するなど、依然として厳しい状況が続いているとの声がある。

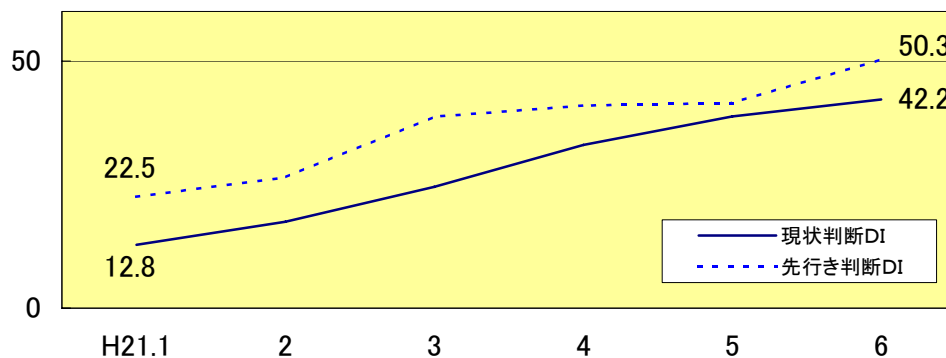
■景気の先行き判断DI 50.3 (前月比 +8.8)

家計部門では、観光関連で回復を見込む声があるものの、小売・サービス関連では景気が上向く材料に乏しく、給与・ボーナスの減少に伴う消費への影響を懸念する声が聞かれる。

企業部門では、一部で受注の回復傾向が見られる一方、消費低迷が続くなど厳しい経営環境を見込む声もある。

雇用部門では、企業の求人縮小の見込みなどから、景気回復に時間を要するとの声が聞かれる。

現状・先行き判断DIの推移



<目次>	調査の概要	1 P
	調査結果	
	1. 景気の現状判断DI	2 P
	2. 景気の先行き判断DI	3 P
	3. 判断理由	
	(1) 景気の現状判断の理由	4 P
	(2) 景気の先行き判断の理由	8 P
	4. 参考	
	(1) 調査対象の構成	1 2 P
	(2) 調査票	1 3 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	40	22	13	5
坂井	坂井市、あわら市	10	6	4	0
奥越	大野市、勝山市	13	8	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	16	6	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	21	12	6	3
計		100	54	34	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月20～末日に調査実施し、翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

調査結果

1. 景気の現状判断DI

今月の現状判断DIは、42.2となり、横ばいを示す50を下回った。
 また、「変わらない」とする回答が半数を占め、悪化傾向とする回答は3割あった。
 家計部門では、ショッピングセンターや小売店などで、来客数や売上高が横ばいから減少傾向にある状況が見られる。
 企業部門では、携帯電話・自動車関連で持ち直しの声が聞かれるものの、多くの業種で受注量が横ばいで推移し、単価も下落傾向にあるなど、厳しい経営環境が続いていることが伺える。
 雇用部門では、企業の求人が低調に推移するなど、依然として厳しい状況が続いているとの声がある。

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	2009 1	2	3	4	5	6	(前月差)
合計		12.8	17.5	24.5	33.0	38.8	42.2	+3.4
家計動向関連		15.3	18.5	22.7	29.4	35.2	36.3	+1.1
小売		14.0	17.6	17.6	25.0	33.8	34.1	+0.3
飲食		31.3	25.0	37.5	40.6	40.6	43.8	+3.2
サービス		8.3	16.7	27.1	35.0	35.4	37.5	+2.1
企業動向関連		11.0	18.4	25.0	37.5	44.1	50.7	+6.6
製造業		11.5	19.2	25.0	38.5	45.2	50.0	+4.8
非製造業		9.4	15.6	25.0	34.4	40.6	53.1	+12.5
雇用関連		6.3	10.4	35.7	35.4	39.6	43.8	+4.2

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(5月調査結果)
 現状判断DI 36.7

○回答別構成比

	年 月	2009 1	2	3	4	5	6	(前月差)
良くなっている		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—
やや良くなっている		2.0%	3.0%	5.3%	11.3%	20.0%	15.2%	▲4.8
変わらない		6.0%	8.0%	23.2%	36.1%	34.0%	51.5%	+17.5
やや悪くなっている		33.0%	45.0%	35.8%	25.8%	27.0%	20.2%	▲6.8
悪くなっている		59.0%	44.0%	35.8%	26.8%	19.0%	13.1%	▲5.9

2. 景気の先行き判断DI

今月の先行き判断DIは、50.3となり、ほぼ横ばいの景況判断となった。
また、「変わらない」とする回答が半数を占め、回復傾向とする回答は3割弱あった。

家計部門では、観光関連で回復を見込む声があるものの、小売・サービス関連では景気が上向く材料に乏しく、給与・ボーナスの減少に伴う消費への影響を懸念する声が聞かれる。

企業部門では、一部で受注の回復傾向が見られる一方、消費低迷が続くなど厳しい経営環境を見込む声もある。

雇用部門では、企業の求人縮小の見込みなどから、景気回復に時間を要するとの声が聞かれる。

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年	2009						
	月	1	2	3	4	5	6	(前月差)
合計		22.5	26.5	38.7	41.0	41.5	50.3	+8.8
家計動向関連		23.1	26.4	33.3	36.3	37.5	46.7	+9.2
小売		22.1	22.8	29.4	31.8	36.8	42.4	+5.6
飲食		43.8	46.9	43.8	43.8	43.8	56.3	+12.5
サービス		12.5	22.9	37.5	45.0	35.4	52.1	+16.7
企業動向関連		22.1	30.9	45.6	47.8	46.3	56.6	+10.3
製造業		25.0	35.6	48.1	49.0	49.0	54.8	+5.8
非製造業		12.5	15.6	37.5	43.8	37.5	62.5	+25.0
雇用関連		20.8	14.6	46.4	41.7	45.8	47.9	+2.1

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(5月調査結果)
先行き判断DI 43.3

○回答別構成比

	年	2009						
	月	1	2	3	4	5	6	(前月差)
良くなる		0.0%	2.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	—
やや良くなる		9.0%	6.0%	14.7%	12.4%	14.0%	28.3%	+14.3
変わらない		17.0%	21.0%	36.8%	51.5%	49.0%	50.5%	+1.5
やや悪くなる		29.0%	38.0%	28.4%	23.7%	26.0%	15.2%	▲10.8
悪くなる		45.0%	33.0%	17.9%	12.4%	11.0%	6.1%	▲4.9

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計 動向	奥越	特産品等販売店	・観光バスによる送客が増えたため、来客数が増え、売上高が増えてきた。
		嶺南	ドライブイン	・3カ月前と比べると客数も増えてきているが、前年同月比では横ばいである。 ・天候に左右されるが、景気は徐々に良くなるのでは。
		福井	割烹	・予約客が、以前に比べて多くなっている。
		福井	百貨店、S C	・買上客数は変わらないものの、売上で回復の傾向が見られる。特に中元ギフトの立ち上がり好調なことから回復の兆しを感じられる。
		丹南	百貨店、S C	・客単価の昨年対比での落ち込み幅が改善されつつある。
	企業 動向	坂井	非鉄金属	・以前に比べて、受注量が増えてきた。
		福井	不動産	・顧客が増えている
		嶺南	電気機械	・最悪の状況は脱した感はあるものの、国内は与信を含め厳しい状況が続いている。 ・中国は若干ながら回復基調が出始めた。
		丹南	電気機械	・受注数量は増えたものの、単価の下落が大きい。受注数量に実需が伴っている感触がない。
		福井	化学・プラスチック	・住宅関連は相変わらずだが、自動車や携帯電話・デジカメなどの産業資材は若干戻っている。
変わらない	家計 動向	嶺南	スーパー	・モノの動きが本当にわずかではあるが良くなっている。
		奥越	写真館	・5月の売上が一昨年に比べて増加。最近の売上の下げ幅も緩やかになってきており、底打ちした感がある。 ・カメラ、額など、モノの動きが若干あったように感じる。
		奥越	百貨店、S C	・景気が上がり気味にならない状況。 ・売上は全体として横ばいで推移している。
		福井	文具販売店	・販売量が横ばいである。
		坂井	衣料品販売店	・客数、売上などが横ばいである。
		嶺南	自動車販売・整備	・個人消費の低迷は変わらず、量・単価ともに上向きの感がない。
		丹南	美容室	・1万円前後の値段の張る施術については客数が大きく減るようなことはないが、来客サイクルがやや長くなっているように感じる。 ・また、若いお客様の中には、ホームカラーを使用して自宅で安く仕上げるなど、若年層に節約志向が表れている。
		嶺南	タクシー運転手	・お客様のタクシー利用数が増えていない。水揚げ金額がアップしていない。
		福井	旅行代理店	・来店客数・販売額とも対前年を大きく割り込んでいる。
		嶺南	商店街	・メーカーや問屋も上向きの材料がなく、とにかく単価が下がっている。
		奥越	ドラッグストア	・客数、買上点数、売上に変化が見られない。
		福井	百貨店、S C	・単価に対しての敏感度は変わらず。還元セールなどの企画では、客単価・客数などが前年を超えている。

現状	分野	地区	業種	理由
	企業 動向	丹南	眼鏡	・ 末端までは景気が良くなったと思われない。 ・ 銀行金利が上がらないと、景気は良くならない。
		福井	商社	・ 個人向けの販売量は前年並みだが、法人向けが若干減少している。
		嶺南	運輸	・ 貨物の数量的には横ばいである。
		福井	繊維	・ お客様の動きに変化がみられない。受注数にも変化が見られない。
		奥越	繊維	・ 受注に対する厳しさは引き続き変わらず、厳しい経営環境が続いている。
		嶺南	建設業	・ 公共事業の発注予定が出ていない。
		福井	医薬品	・ 健康食品や大衆薬など、景気動向に左右される商品の回復傾向が見えない。
		福井	運輸	・ 受注量は横ばいだが、価格競争が激しくなっている。
		丹南	眼鏡	・ 景気は底を打ったとは思うが、底のまま推移している。
		奥越	電気機械	・ 大きな変化はないと推察する。
		福井	IT関連	・ 少しずつ商談件数は増えつつあるが、結論は中々出ず、苦戦している。
		福井	金融機関	・ 大手製造業の生産動向は在庫調整の一巡により、回復基調にあるが、地元企業の受注回復には至っていない。 ・ 3月決算企業の決算内容は、多くが減収減益となっており、資金繰りが不安定な取引先も多く、景況感好転の兆しは見られない。
	福井	金融機関	・ すべての業種において、売上高について減少傾向が続いており、変化は見受けられない。	
	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・ 一部上向いている部分もあるが、概して低調である。（ハローワークによると求人数は低調、求職者数・採用者数は4月より若干回復。雇用形態は、常用雇用が少なくパート等短時間労働者が多い）
		丹南	自治体労働政策担当課	・ 有効求人倍率、離職者数、企業の業況から。
		奥越	高校就職担当者	・ 事業所を訪問して状況を聞いても、なかなか厳しい状況である。
		福井	大学就職担当者	・ 北陸3県の企業（特に製造業）の求人意欲は依然弱い。学科別では、電気・機械系の学生が苦戦。
		福井	ジョブカフェ担当者	・ 求人数が増えていない。 ・ 企業を廻っているマッチングアドバイザーの情報でも景気が良くない企業が多い。 ・ ジョブカフェ来所者も「初めて」の方が増加している。
嶺南		ジョブカフェ担当者	・ 求人数は若干減少している感じがする。相変わらず厳しい状況は続いている。	

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計 動向	坂井	居酒屋	・平日の来客数が減少している。
		福井	百貨店、S C	・売上が伸びない。
		奥越	百貨店、S C	・来店数、売上が減少している。
		福井	スーパー	・来客数、販売量、一人当りの買上金額・点数とも依然として回復とは言いがたい厳しい状況。競合店も今までにない販促策を打ち出すなど努力をしている。
		福井	居酒屋	・去年同期よりも売上げが減少している。 ・ドリンク半額セールなどを行っている安い店に客が流れている。
		坂井	旅行代理店	・本年初めより、前年比20%減前後で推移していたが、先月・本月は30%減に落ち込んでいる。ゴールデンウィーク前に復調の兆しを少し感じられたが、新型インフルエンザで一気に冷え込んだ。未だに来店・販売は弱く、以前は考えられない低価格商品が投入されているが状況の改善には至っていない。
		坂井	土産品等販売店	・団体旅行の集客が悪い。（会社旅行がなく、バス会社ツアーの集客も悪い）
		嶺南	旅館	・経済危機と言われる部分では、人々の意識は多少、楽観的になりつつあると思われるが、やはり新型インフルエンザの影響は、大きいものがある。 ・4月・5月にキャンセルになった物件が、日延べの予定でも劣化的に中止になってしまう場合が多く、6月・7月の入り予定も、非常に厳しいものがある。
		丹南	菓子製造・販売	・給料日の前後での来客数が極端に違ってきている。給料日後はかなり良くなってきているような感じがする。
		奥越	商店街	・3カ月前と比べ仕事量が減っている。
		嶺南	商店街	・行政の誘客に対する姿勢が低下している。
		福井	百貨店、S C	・ここ数カ月は客単価が下がっても、来客数は前年並の状態が続いていたが、今月に入り来客数も減少してきている。
		丹南	商店街	・来客数が少なくなっている中で、客単価はそれほど変わらない。相対的に販売量は減少している。
	企業 動向	丹南	眼鏡	・価格が下落している。
	雇用	嶺南	大学就職担当者	・企業の採用活動で、来年度卒業見込者に対する採用計画、採用予算が縮小している。

現状	分野	地区	業種	理由
悪くなっている	家計 動向	奥越	自動車・建設機械整備・整備	・競争相手が価格の低見積を出してきており単価が下がっている。
		嶺南	大型小売店	・景気の後退局面の一層の深刻化と所得に対する不安感から前月に引き続き買い控えの状況が続いた。しかし、新型インフルエンザの国内発生の影響でマスク、洗剤などの特需があった。
		丹南	小売店	・スーパーへ買い物に行っても客数が少なく、静かな感じがする。 ・今年はこのまま景気の状態は変わらず、来年にならないと回復してこないと思う。
		福井	スナック	・来客数が大幅に少なくなり、売上げが減少している。 ・セットのみという客が多く、追加注文がない。
		嶺南	ドライブイン	・来客数の動き、特にバスツアー（会員募集）の動向に注目しており、5月より更に悪くなっているように思われる。
		福井	タクシー運転手	・利用者数が激減している。
		福井	百貨店、S C	・6月の実感としては、非常に悪くなっている。もともと6月はボーナス払い等の解禁月でもあり、高額品の発生、計上が多い月だが、ボーナス払いによって、少しでも高い物を買おうとか、この機会に買っておこうというのが感じられない。
		坂井	百貨店、S C	・今まで顕著であった食品も不振の日が多く、客単価も下落傾向でセールでの購買は前年並みではあるが、平日の落ち込みが目立つ。
		嶺南	百貨店、S C	・17：00以降の来客数が少ない。
		丹南	スーパー	・依然厳しい状況で買い控えや商品選択を吟味して買われている傾向が続いている。客単価も落ちてきている。 ・競合店のポイントやセール価格に注視している。
	雇用	丹南	高校就職担当者	・周辺企業、求人数（見込）の動きから。

3. 判断理由

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなる	家計 動向	奥越	特産品等販売店	・秋の行楽シーズンを迎え、観光客数の増加が見込まれる。
		嶺南	ドライブイン	・本格的に良くなるとは思わないが、このままの景気が続けばと思う。
		丹南	小売店	・消費者の気持ちに安心感が出てくれば、景気が上向いてくると思う。
		福井	割烹	・客単価は減少するものの、来客数は増えるのではないかと思う。
		坂井	土産品等販売店	・9月頃、農協・年金・共済の各支店企画が入ってきている。
		福井	ビジネスホテル	・新型インフルエンザの影響もなくなり、団体予約や一般予約も持ち直しているのだから徐々にではあるが持ち直し傾向にあるのではないか。
		嶺南	ドライブイン	・来客の多くは県外のお客様であり、中でも、バスツアー（会員募集）が約半数を占めている。5月同様、今年は前年に比べ集客状況が悪くなっている。休憩に立ち寄るバスの数も減少している。 ・新型インフルエンザの影響は収束に向かっており、7月・8月は受注状況も上向きであるが、選挙の影響がどう出てくるか心配である。
		坂井	温泉旅館	・新型インフルエンザの影響で海外旅行よりも国内旅行に集中し、夏休み・お盆休み等季節要因で行楽地はにぎわうものと思われる。
		嶺南	旅館	・秋からは良くなるという希望を基本的に持っている。インフルエンザの第2波がなければ、緩やかな回復基調にあると考える。
	企業 動向	福井	化学・プラスチック	・国内においては、自動車関連企業など一部で、若干の回復基調。また、海外では中国が持ち直しつつある。
		嶺南	運輸	・自動車部品などの荷物が動き出すことに期待している。
		福井	不動産	・受注が増えている
		丹南	美容室	・特に根拠はないのですが、ムード的に漠然とした景気上向きの期待感を皆さんお感じのように思う。
		嶺南	電気機械	・願望も含め、国内は主力市場の家電業界のエコポイント等の財政出動の効果と猛暑、海外市場は回復基調の継続を期待している。
		丹南	眼鏡	・在庫調整が進んだため。
		福井	医薬品	・取引先販売店の売上げに、やや明るさが見えてきたと聞いている。
		福井	一般機械	・受注の引き合いが増えてきている。
		福井	運輸	・夏頃までは大きな変化は望めそうもないが、メーカーの生産が上がってきているので、その影響が出てくることを期待している。
		奥越	電気機械	・業界全体も回復基調にあり、今後受注が増えると推察する。
		丹南	眼鏡	・秋の展示会前後に動き出すのではないかと見ている。
福井	IT関連	・底打ち感の予測のもとに必要なIT投資の検討を始めつつある。		
雇用	福井	大学就職担当者	・県外中小企業の求人が若干増加している。	

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計 動向	嶺南	スーパー	・景気が回復するかどうかは分からない。 ・消費拡大につながる新たな政策が打たれることを期待する。
		奥越	写真館	・夏場は主だったイベントがなく、業界としては閑散期に当たる。
		奥越	百貨店、S C	・2番底にならないよう努力している状況・ ・地場産業が元気にならないと景気は上向かないのでは。
		福井	文具販売店	・景気が良くなる要因が見当たらない。
		坂井	衣料品販売 店	・景気は悪くはないと思うが、良くなる理由もない。
		嶺南	自動車販 売・整備	・エコ車の需要に偏り、全体の需要は戻っていない。
		奥越	自動車・建 設機械販 売・整備	・車に対する減税、補助金がどこまで反映されるのか分からない。
		坂井	居酒屋	・巣籠り現象が生じている。5月は平年並みだったが、6月は来客数が減少している。
		福井	百貨店、S C	・良くなる見込みがない。
		福井	スナック	・ボーナス時期なのに、客の出足が悪い。
		嶺南	タクシー運 転手	・景気が良くなる状況が見えない。
		福井	旅行代理店	・先行受注やお客様の仕事の状況を見ていると、良くなりそうな感じがしない。
		福井	ビジネスホ テル	・宿泊部門については、下期も現在と同じ状況と見込んでいる。 ・宴会部門については、下期増収を見込んでいる。
		丹南	菓子製造・ 販売	・元々夏場は暇な方であるが、夏向けのメニューを充実させて来客してもらえよう努力している。 ・お中元などがスタートしていて昨年並みの注文が今のところあるため、7月に入っても期待できそうである。
		福井	スーパー	・過去1年間の様子から大きな落ち込みはないが、景気が上向く材料に乏しく、今後もサイフのヒモは固い。
		嶺南	商店街	・景気の良かった箸や観光業も悪くなってきているため、地元頼みの店舗は今後も厳しいと考える。
		丹南	百貨店、S C	・消費者の購買意欲は回復しつつあると思うが、夏季賞与額の減少や食料品の再値上げ等の気配を考慮すれば一概に良くなるとは言えないと思う。
		丹南	商店街	・自店の努力次第。
福井	百貨店、S C	・セールが始まり、客単価は更に低下する。秋物商品の展開がスタートしても、前年以上に動きは鈍い予想。		
奥越	ドラッグス トア	・景気が変動する理由が見当たらない。		

現状	分野	地区	業種	理由
	企業 動向	坂井	一般機械	・景気の低減と同時に、ガソリン価格がじんわりと上がってきており経費を圧迫している。こうした面の対策も必要。
		福井	商社	・法人向けの販売量は減少すると見込んでいるが、個人向けに期待している。
		坂井	繊維	・底打ち感はあるが消費低迷が続くと予想。
		福井	繊維	・政治が変化しない限り経済も変わらない。
		嶺南	建設業	・公共事業の発注予定が出ていないこと、他地区の方が発注予定であるので、非常に地区ごとのバランスが悪い。
		丹南	電気機械	・とりあえず夏前までは、このままそれぞれの得意先の思惑で突っ走る模様。 ・消費マインドはそれほど強いとは思えないので、いつ反動がくるか心配。
		福井	化学・プラスチック	・主力の住宅関連資材が戻るのは、秋口以降だと考えている。
		福井	金融機関	・雇用環境の悪化、夏季賞与の減額等、消費が拡大する材料はなく、当面厳しい経済環境が続くものと思われる。
	福井	金融機関	・2～3カ月先について売上高の増加は見込めず、現状と変化は見られないと考える。	
	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・市内主要企業で受注量が若干戻しつつあるが、昨春と比べるとまだ回復とはいえない。
		丹南	自治体労働政策担当課	・企業への聞き取りから、一部業種の受注はやや上向いているが、ほとんどの業種では依然として不透明な状況。
		奥越	高校就職担当者	・ある企業で「在庫調整がもう少しでひと段落し、その後持ち直してくるのでは」と聞いた。ただ、地域毎に温度差もあり景気回復には少し時間がかかりそう。
		福井	ジョブカフェ担当者	・企業から景気はまだまだ良くないと聞く。一方、少しずつよくなっているという企業もある。まだ時間はかかるが、良くなる兆しは始めている。
		嶺南	ジョブカフェ担当者	・雇用状況も含め、今の状況はしばらく続くのではないかと。
やや悪くなる	家計 動向	福井	居酒屋	・生活が大変で、飲みに出ることが少なくなると思う。
		坂井	旅行代理店	・良くなる要因が見当たらない。今年のボーナスの使い道の第一位が、生活費の補てんであった。家電・自家用車などは政府のテコ入れにより一過性の賑わいが感じられるが、景気の底から上昇するような雰囲気は感じられない。
		嶺南	商店街	・雇用および個人消費が低迷している。
		福井	百貨店、S C	・インフルエンザ等の影響は少なくなったものの、高額品の動きがまるで感じられない。 ・株価は10,000円を超えたりしているのに、購買動向には全く影響してきてない。
		福井	百貨店、S C	・中元ギフトの早期割引終了後、ギフト売上が鈍化すると思われる。
		福井	百貨店、S C	・一部では景気回復の兆しが見えるとの報道がされているが、まだまだ雇用状況も悪く、ボーナスカット等の問題も影響し、悪くなると思われる。

現状	分野	地区	業種	理由
	企業 動向	坂井	非鉄金属	・利益幅の大きい製品の受注は低迷したままであり、回復の兆しが見えない。
		丹南	高校就職担当者	・採用を控える企業、様子見の企業もあり厳しさを肌で感じる。地方はまだ底ではない。
	嶺南	大学就職担当者	・企業採用担当者から、来年度卒業見込学生の求人について、本年度以上に縮小が見込まれると聞いている。	
悪くなる	家計 動向	嶺南	大型小売店	・一部のメーカーでは持ち直しの傾向はあるものの、所得の回復までは至っておらず、特に生産調整、休日調整された5月度の給与は特に厳しかったため、消費に大きく影響する。
		坂井	百貨店、S C	・夏のボーナスも不安要素が高く、昨年並みの支給が見込めない中で、より購買は縮小しそうな気配である。
		嶺南	百貨店、S C	・店舗数が退去のため激減した。
		丹南	スーパー	・ボーナスの減少や原油が上がるなど消費や物価に対する状況は厳しいことが続くと思われる。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象	人数
家計動向関連	54
商店街、小売店	
商店街関係者	5
小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等	
売場主任・店長・従業員	11
スーパー	
店長・従業員	4
家電販売店	
経営者・店員	2
コンビニエンスストア	
エリア担当	2
ドライブイン等	
経営者・スタッフ	3
飲食関連	
レストラン、ファストフード等営業担当・スタッフ	4
居酒屋等経営者・店長・スタッフ	4
その他サービス関連	
自動車販売・整備業経営者・従業員	2
美容室 経営者・従業員	1
福祉施設 経営者・従業員	1
観光関係	
旅館関係者	2
ビジネスホテル関係者	2
旅行代理店経営者・従業員等	2
タクシー運転手	2
企業動向関連	34
製造業経営者・従業員	
繊維工業	3
眼鏡工業	3
一般機械工業	3
電気機械工業	3
化学・プラスチック工業	3
鉄鋼業	2
伝統工芸関連	2
商社	2
食料品製造業	2
その他製造関連	3
非製造業経営者・従業員	
IT関連	2
金融機関	2
建設・不動産	2
運輸	2
雇用関連	12
自治体労働政策担当課	2
労働相談員	2
学校就職担当者	4
ジョブカフェ担当者	2
就職情報誌編集者	2
計	100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3カ月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)